

令和六年度 国際学級帰国生入学試験問題

令和五年十二月十日 実施

国 語 (三十分)

「注 意」

- 一、試験開始の指示があるまで問題を開いてはいけません。
- 二、問題冊子は5ページあります。試験開始後すぐに確かめてください。
- 三、解答はすべて解答用紙に記入してください。
- 四、問題冊子の表紙および解答用紙に受験番号（算用数字）と氏名をはっきり書いてください。
- 五、字数制限のある場合、句読点・カッコなどはすべて字数に数えます。
- 六、試験終了後、解答用紙だけでなく問題冊子も回収します。
- 七、試験中、机の上から物を落としたり、気分が悪くなったり、何か用ができた時は、手をあげて監督かんとくの先生に知らせてください。

受験番号

氏名

東京女学館中学校

一次の①～⑩について、——部のカタカナを漢字に直しなさい。

① 活気のあるギョウウのある町に住む。

② 子どもたちの成長のカタイを見守る。

③ ピアノの先生にシヤレイをわたす。

④ 出欠の返事はまだホリユウだそうだ。

⑤ 自動ファンバイキで二枚買ってきて。

⑥ 判らかった部屋をかたつける。

⑦ 国文学のゴウギを聞く。

⑧ 彼は委員長にゴキニンだ。

⑨ シンバウのうまげ野球選手。

⑩ みずみずしいハンジを食へる。

二次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

素直な心は、物事のありのままの姿、真相というものを正しく見ているので、色が正しく見えてくる。ところが、素直な心にならなければ、心の中に物事の真相をおぼつかくすとどうか、これをへもせむすものがあると思われからず。

美しく磨きあげられた無色透明なガラスをおおせば、物がそのありのままに見えます。それと同じように、素直な心になったならば、物事の本当の姿どうか、真相がはっきりと見えるようになるのではないかと思います。だから真相に基づいて物事を考え、判断することも、色が正しく見えてくると思っております。

**A** これが、①無色透明でなく色のついたガラスであったならばどうでしょうか。色ガラスをおおして見れば、向こうにある物の本当の色が正確にはわからなくなります。仮にガラスの色が青色であるとすれば、向こうにある白い物は白くは見えず、青みがかって見えるでしょう。つまり、これは、②本当のありのままの姿どうしようものかわからなくなります。あるいはまた、そのガラスがゆがんだガラスであれば、向こうにある物もゆがんで見えるわけです。 **B** 素直な心になつて物事を見た場合には、無色透明で正常なガラスをおおして見るように、何の色もつかず、そのありのままが見えるというわけですね。

ところが、お互いは口癖③やもするで、いろいろな色ガラスやゆがんだガラスをおおして向こうを見ているような面があるのではないのでしょうか。 **C** 自分なりの知識、学問という色ガラス、自分の欲望なり利害得失という色ガラス、一つの主義、思想という色ガラス、というふうな、やもするまな色のガラスやゆがんだガラスをおおして物事を見、考えている場合が非常に多いのではないかと思います。④それはお

互い人間としてやむを得ない面もありまして、しかしそういつた自分なりの意見とか感情にとらわれてしまつては、本当の色、ありのままの形とどうものはやほり見えなうと思つて居ます。

D

⑥自分では正しく見てゐるつもりであっても、実は色ガラスの色をとおして物事を見

ただ、たゞ、色、は、互い、日本人、自身、を、どの、よう、に、見、て、い、る、の、で、し、ょう、か。色のつかならガラスをとおして見てゐるのでしうか。それとも色のついたガラスをとおして見てゐるのでもしうか。もしも色のついたガラスをとおして見ていたならば、日本人みずからが日本人を正しく見てゐるなら、そのありのまゝの姿を見てゐるなら、どこでどこでもなつてしまつてしまつて。

今日のおわが国におつては、政治をはじめとして社会の各分野の活動におつて、またお互いの日々の生活の各方面におつて、いろいろとあやまちやゆきまちがいが生まれてきて居ます。そしてそれらがお互いの悩みや苦しみ、対立や争ひをさうさう深めてゐる面なきあるやうに思われます。

⑦⑦、い、う、い、う、面、が、あ、る、と、い、う、と、き、一、一、は、互、い、が、素、直、な、心、な、ら、ば、色、ガ、ラ、ス、を、と、お、し、て、見、そ、れ、に、と、ら、わ、れ、て、判、断、を、下、し、行、動、し、て、い、る、と、い、う、う、な、姿、が、少、な、く、な、い、か、ら、う、は、な、ら、ず、し、て、い、ま、し、う、か。

(松下幸之助、素直な心になるために「下り」)

※ 出題の都合上、一部表現のしかたを変えたり、省略したりしたところがあります。

問一 本文中の 

A
---

D
---

 の中に入る語として適当なものを、それぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

(ただし、同じ記号は一度しか使えません。)

ア けれども      イ つまり      ウ たとえば      エ もしも      オ たとえ

問二 — 線部①「無色透明むじくとうめいでなく色のついたガラス」とは何をたとえた表現ですか、本文中から十一字で抜き出して答えなさい。

問三 — 線部②「本当のありのままの姿」と同じ意味の語を、本文中から漢字二字で抜き出しなさい。

問四 — 線部③「ややもすると」の言いかえとしてもっとも適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア いへまわて      イ もしかすると      ウ なにかにつけて      エ あるときには

問五 — 線部④「それ」が指している内容を、文中の語を用いて「こと」「つづつ」「ふうふう」「三十字以内で答えなさい。

問六 — 線部⑤「自分では正しく見ているつもりであっても、実は色ガラスの色をとおして物事を見ていた」という経験があなたにはありますか。あれば「どのような色ガラスをとおして」「その見方をしましたのか、どういことがわかるように」、あなたの体験を書つてください。(もし、あなた自身のいこととそのいような体験を想いつかなない場合は、自分自身のいことでもかまいません。)

問七——線部⑥「われわれはお互い日本人自身をどのように見ているのでしょうか」とありますが、次のア、エは「色のつかないガラス」「色のついたガラス」とどちらをとおして見ていると言えますか。「色のつかないガラス」ならA、「色のついたガラス」ならBの記号を答えなさい。

ア 日本では大雨や洪水が多かったので、日本人は昔から水害を防ぐことに力を注いできた。

イ 武士道が重んじられたため、日本人はみな潔い性格で、桜の花が好きである。

ウ 日本人は器用で繊細な仕事ができるので、外国製より日本製のほうが良い品物である。

エ 自然が豊かな日本では、日本人は雨や月など自然に関する言葉をたくさん持っている。

問八——線部⑦「この二面の指す内容としても適当なものを次のア、エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 今日のが国における、社会の各分野の活動や、お互いの日々の生活のこと。

イ わが国の社会の各分野の活動や、お互いの日々の生活の各面で生まれるあやまちやゆきまちがいのこと。

ウ 政治などの社会の活動や、お互いの日々の生活の中での人々の悩みや苦しみ、対立や争いのこと。

エ 社会の活動や日々の生活で生まれるあやまちやゆきまちがいが、お互いの苦しみや対立を深めていること。

問九 この文章には「素直な心になるために」という題名がついています。色のつかないガラスをとおして物事を見るような「素直な心」になるためには、どうすればいいとおあなたは思いますか。五十文字以内であなたの考えを答えなさい。

